

## 「在宅介護実態調査」について

この調査は、第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）の策定にあたり、「要介護（要支援）者の在宅生活の継続」や「介護者の就労継続」に有効となる介護サービスの在り方を検討する材料とするため、認定調査員が、認定調査対象者の方及び主な介護者の方に聞き取りにより行う。

### 1 目的

- ・この調査票と「要介護認定データ」とを合わせた分析を行い、客観的なデータに基づいた分析等を行う。
- ・この調査方法は、第7期計画策定時に国から通知があったが、当市は期間が短かく、サンプル数が集まらなないと判断し、郵送により、被保険者番号と調査票を結び付けない方法で調査を実施した。

### 2 調査対象者

- ・市内に住所を有し、市内に在宅生活している方  
※【在宅と見なさない】医療機関に入院している方、特養、老健、介護療養型医療施設、特定施設、グループホームに入所している方  
【在宅と見なす】特定施設入居者生活介護の指定を受けていない有料老人ホーム、ケアハウス、サ高住に入所している方
- ・要支援、要介護認定を受けている方

### 3 調査期間

令和元年8月から令和2年1月末まで

### 4 サンプル数

600件

### 5 その他

- ・調査対象となる方は、介護認定更新申請又は区分変更申請を行う方から選別する。
- ・調査実施に当たっては、調査実施前に対象者の方の同意を確認した上で行う。